



〈明星ドリーム！夢をもつ！夢をかなえる！〉

令和7年度がスタートし、充実の1学期も終業の日を迎えました。今年は過去二番目の早さで6月中の梅雨明けとなり、去年よりも更に厳しい暑さが予想されます。厚生労働省は、労働安全衛生規則を改正し、6月1日から、職場での熱中症対策を義務化し、事業者が適切な対策を講じなかった場合、罰則も科せられるそうです。日常生活でも適切なエアコン使用、こまめな水分補給、移動時の日傘や冷却グッズの活用など心がけ、熱中症予防に取り組まなくてはなりません。外に出て自由に遊んでいた我々大人世代の夏休みとは、違った夏休みの過ごし方を子どもたちに強いらなければならなくなったのは、大人世代の責任だと思います。また、一方でAIの進化など日々の生活、価値観の変化も目まぐるしい世の中となっています。気候変動や変化の激しいこの時代に、次世代を築く明星の児童生徒たちが未来に「夢をもつ」ことができる深い学びや広い体験ができるようにしていくことが、我々大人の役割だと強く感じます。

～明星ドリーム～先日の九州地区盲学校体育大会では、この暑さに負けないくらいの熱い明星ドリームが繰り広げられ、中学部、高等部フロアバレーボールとSTT競技の10人の選手が、明星の夢を実現し、私たちを元気づけてくれました。フロアバレーボールでは、この2年間の雪辱を果たし、悲願の優勝、全国大会出場を勝ち取りました。

「この二年 流した涙と 血と汗で かなえた夢は 北の大地へ」

この優勝という夢を2年間諦めずに持ち続け、汗まみれ、あざだらけで日々練習をしてきた思いを普通科1年の永野敦大さんが短歌に込めてくれました。北の大地での明星ドリーム全開、明星旋風、かなえた夢を更に広げてくれることをを期待しています。

また、中学部1年生の鈴木旬介さんは、5月の宮崎国際音楽祭で全盲の世界的ピアニスト、あこがれの辻井伸行さんとの対面が実現しました。「いつか辻井さんのように大勢の人の前で演奏したい」という夢を持っている鈴木さんにとって、辻井さんの生の演奏、対面は、夢のような時間となり、更に自分の夢に向かう推進力となったことでしょう。「楽しむのが1番、ピアノ以外にも好きなことを見つけて」という辻井さんのメッセージにも、好きなことをいろいろ見つけて、夢に向かってほしいという思いが伝わります。

～夢をもつ、夢をかなえる～「夢をもつ」ためには、まず、「好きなこと」に出会うこと、「好きな・・・」をたくさんもつことです。進路希望調査によると明星の児童生徒たちの好きなことは、「音楽鑑賞、アニメ、買い物、音を聴く、ピアノ、パーカッション、STT、読書、パソコン、ゲーム、絵を描く、勉強、ラジオを聴く、体を動かす、料理、逆立ち、図工」などなど、いろいろあって本当に楽しそうです。その好きなことをどんどんやってみて、深めて、失敗してもたくさん挑戦してみてください。それは、きっと「夢をもつ」ことにつながります。そして、それは、「夢をかなえる」努力につながります。

スポーツ、音楽に限らず、たくさんの好きなことに出会えるように、学校生活、日常生活、あらゆる場面で、子どもたちに多くの機会を与え、興味、関心をもたせることが子どもたち一人一人の豊かな未来につながるキャリア教育の一歩だと考えています。学校とご家庭と連携して、明星ならではのキャリア教育を実践していきたいと考えています。キャリア支援部では、幼児児童生徒に関わる教育相談、進路相談、情報提供など幅広く対応していきたいと考えています。どうぞ、何かありましたら、いつでも気軽にご相談ください。

〈明星ならではのキャリア教育〉

1. 本校の取組

- (1) 学力保障
 - ・ 個に応じた指導（進路別指導）
 - ・ 模擬試験や各種検定の受検、課外授業
- (2) 自立活動・学級活動・LHR・総合的な学習の時間における進路学習
 - ・ コミュニケーション(意思疎通)や対人関係に関すること
 - ・ 勤労観・職業観に関すること
 - ・ 日常生活に関すること（歩行訓練等）
 - ・ 障がいに関すること
- (3) 職場見学、体験学習
 - ・ 臨床実習（理療科）
 - ・ 大学見学、職場見学、進路体験学習（中・普）、理療科体験（中・普）
- (4) セミナー・講演会
 - ・ 就労支援セミナー、職業講演会、進路講演会、受験者体験報告会、進路体験報告会
- (5) 情報提供
 - ・ 進学、就労、国家試験、各種奨学金等
 - ・ 進路だより発行（年3回）

〈令和6年度進路報告〉

中学部卒業生1名 本校高等部普通科

高等部専攻科保健理療科1名 本校高等部専攻科理療科

高等部専攻科理療科 2名 本校研修相談コース1名

中学部卒業生1名、専攻科保健理療科卒業生1名が、それぞれの入試に向けて、努力し、本校に進学を果たしました。視覚障がいに関わる支援環境の充実し、少人数で一人一人に合った丁寧な個別指導、学習ができるという本校の強みを生かし、次の進路目標や将来の夢、資格取得に向けて、更に努力を重ね、後輩の励みになってほしいと思います。

〈進路希望調査について～夢の実現につなげる～〉

毎年、実施している進路希望調査ですが、今年度は、ご家庭で子どもさんと一緒に将来について考えてもらおうと、内容をより具体的に、グーグルフォームで答えやすいようにと工夫しました。ご家庭で話し合う機会となり、より具体的な回答を得られました。ただ、4月の慌ただしい時期だったり、うまくグーグルフォームが使えなかったりという反省点もありましたので、更に改善、工夫を加えて、よりよいものにしていきたいと思っています。

さて、先日、職業講演会で講演された小林千浩さんが、進路希望調査についてもお話してくれました。まだ、宮崎では「ヘルスキーパー」という職業に就くことが、現実的に厳しい時でしたが、毎年、進路希望欄に「ヘルスキーパー」と3年間書き続けたそうです。口にする、言葉にすることで、夢は実現するということ、有言実行の大切さをまさに自ら証明してくれました。もちろん、小林さん自身が、夢の実現に努力を惜しまず積み重ねた結果でもあります。小林さんのように、明星の児童生徒の皆さんも、それぞれの夢を持って、それに向かって努力し、実現してほしいと思います。そのためにも、この進路希望調査を活用し、夢の実現につなげるためには、具体的にどのようなことが必要か、どのような力を身につけるかを学校とご家庭が協力し、情報収集、提供、必要な支援体制をとっていきたくて考えています。進路希望調査へのご協力ありがとうございました。

〈職業講演会報告～次の夢は・・・〉 令和7年6月13日(金)

講師 小林 千浩氏(令和4年度 本校高等部専攻科保健理療科卒業生)

株式会社 旭化成アビリティ 延岡営業所 ヘルスキーパー(マッサージ師)

小林さんは、本校卒業生初のヘルスキーパーとして、活躍されています。県知事を表敬訪問して施術したり、テレビ出演などでも、宮崎県で馴染みの薄いヘルスキーパーという職種の魅力を広く伝え、認知度を上げてくださっています。小林さんは、終始温かいお人柄がにじむ口調で、ユーモアを交えながらも、深い内容を伝えてくださり、保護者、生徒、職員にとって貴重な時間となりました。本校入学までの経緯、自身の障がい理解、障がい受容に関することなど当事者として向き合ってきたことなどは、大変心に響く内容でした。また、スマイル文化祭やお菓子を配るハッピータイムなど、障がいの有無に関わらず、生き生きと働くための「旭化成アビリティ」(特例子会社)の様々な取組を紹介されました。社員一人ひとりが夢と誇りを持ち、全ての人がハッピーになることを目指し、社会貢献していくという理念も素晴らしく、夢のある大変魅力的な職場であることが、とてもよくわかりました。

また、本校理療科での3年間について、最初はある摩マッサージに暗いイメージを持っていたのですが、自分を見つめ直す大切な時間となり、無駄ではなかったと振り返ってくれました。そして、ある摩マッサージ業界を明るい業界へ変えていきたい、理療科への恩返しをしたいという熱い思いを伝えてくれました。将来に悩んでくずぶっていたり、どんな理由であっても将来を考えるのに時間が必要な人は、理療科は1番のオススメという言葉も大変印象深く、今、卒業後の進路を考えている普通科、中学部の生徒たちにとっても大変参考になったのではないのでしょうか。

最後の質疑応答では、また小林さんらしい素敵な回答に、これからの元気と勇気、大きなヒントをもらうことができました。

Q. 社会にでるために必要なスキルは？

素直さ、意地を張らないこと。周りとのコミュニケーションを大切に、素直に受け入れる柔軟性が、仕事の上でも、自分自身にとっても成長につながる。

Q. 効果的な勉強法は？

メリハリをつける、授業を大切に、いろいろ試して自分に合う方法を見つけることが大事。自分は家では勉強しないと決めて、学校で集中してやった。

Q. 障がいのある方への施術は？

社員で障がいのある方は7割で、皆さん自分のことをよく理解しているので、お互いにサポートしながら施術をしている。

Q. 仕事以外では、どのような世界をもっている？

いろんなことに手を出す。絵や音楽、興味のあることに何でも触れて、調べることが好きなので、その中で自分に合うものを取り入れてオリジナルに変えていっている。

進路希望調査に書き続けた「ヘルスキーパー」という夢がかなった小林さんの、次の夢は、大好きな声優さんに施術するという壮大な夢も語ってくれました。夢をかなえた先には、また次の夢が広がることも教えてもらいました。いろんな好きを大切に深めていった多才な小林さんの豊かな経験は、感性豊かな言葉を生み、私たちにこのような素晴らしい夢を伝えてくれました。後輩たち一人ひとりの胸に刻まれた小林さん温かいメッセージが、これからのそれぞれの夢につながることを期待するとともに、今後の小林さんの夢の展開、更なるご活躍を楽しみに応援したいと思います。

※講演会の動画を視聴されたい方は、担任の先生にお知らせ下さい。



講演後～職業講演会の感想（生徒）～

とても良かったです。ヘルスキーパーの事が分かりました。小林さんの今されていることが、ものすごくすごいことだと思いました。講演会を通して、理療の道に進んだとしてもそうではない道に進んだとしても働く上で何が必要なのかについて知りました。

小林さんの、思っている気持ちを素直に出して頂けたので良かったです。

旭化成アビリティ様の、ワクワクする活動の取り組みを聞かせて頂きありがとうございました。理療科の私には将来への希望が広がる内容で大変刺激になりました。また、中高生にとっても障がい者雇用への柔軟な考え方や皆さんで取り組まれる活動は興味が湧ききっかけになったのではないかと思います。小林さんの声に自信が感じられ、魅力的な会社で充実されたお仕事をされているのだなど。しっかり勉強して、私も頑張ろうという気持ちになれました。貴重な講演ありがとうございました。

～小林さんへの生徒からの質問～

Q. 旭化成アビリティさんでは、ヘルスキーパー以外で視覚障がいのある方はどのようなお仕事をされているのかが知りたいです。

回答 弊社で働く視覚障がい者の業務内容としまして、おおまかに以下の内容があげられます。

1. 重要書類等の破棄：シュレッダーなどを用いて、会社の重要な機密に触れる書類を処理する業務。

2. 洗濯・クリーニング：作業服の洗濯や各種業務で生じた汚れ物をクリーニングする業務。障がいの度合いや個人の適性によっては、事務作業に携わる方々もいらっしゃいます。

〈～未来への一歩～参加型進路講演会案内〉

本校では、毎年6月に、職業講演会、12月には進路講演会を実施しています。

昨年度から、12月の進路講演会は、ディスカッションを取り入れた参加型に変更しました。

昨年度は～「好き」から始まる自分探し・自分の磨き方～でディスカッションを取り入れた参加型の講演で、テーマは「思わずやってしまうこと」で、思わずやってしまうことが、自分の好きなことや才能に気づいたり、将来の夢や職業につながっていくという内容で、参加した生徒保護者ともに、発見のある有意義な時間となりました。このようなことが、キャリア教育の一歩であり、まずは、この進路講演会という機会を使って、ともにキャリア教育を知り、考えていこう、ステップを重ねていこうと考えています。また、参加者も児童・生徒並びに保護者・職員含め全学部に広げ、他学部の保護者、職員とも関わり、相談できる雰囲気を作っていきたいと考えています。明星全体でお互いを知る機会になり、ともにキャリア教育を進め、未来への一歩へつなげることができると思います。詳細は、またご案内いたしますので、どうぞご都合をつけてご参加ください。

- 1 日時 令和7年12月5日（金） [参観日]
午後1時30分から午後2時35分（小学部は午後2時10分まで）
- 2 場所 本校 ランチルーム
- 3 対象 全校児童・生徒、全学部の保護者、職員
- 4 講師 長友 はるな 氏
(宮崎県キャリア教育支援センター キャリア教育コーディネーター)
- 5 演題 「未来への一歩入門編（仮）」

※講演時間は前半20分ほどで、後半20分は学部・保護者職員交えて5～6名のグループに分かれて、一つのテーマを元にしたディスカッションを予定しています。

